

研究課題番号	S-19-3
研究課題名	陸域からの排出インベントリ作成と流出抑制技術開発
研究実施期間	2021年度～2025年度
研究機関名	京都大学
研究代表者名	藤原 拓

1. 委員の指摘及び提言概要

それぞれの課題を、十分な慎重さをもって研究を進めている姿勢を高く評価する。分析精度を検討した調査マニュアルとしての価値は高く、点源についてはすでに社会的意義のある結果を得ている。汚水施設での除去率は、途上国と違って防除システムがあるとの安心感を与えてくれる。今後はそれぞれのサブテーマ間の連携をとり、全体像（マイクロプラスチックの発生源はどこが大きいのかなど）が分かるようにまとめていただけるとよいと思う。面源については雨天時の流出負荷の測定が重要になるので、精度を上げるための工夫を期待したい。下水汚泥の農業利用を進める政策が変更になったため、農地での下水汚泥由来肥料に含まれるプラスチックの流出と抑制法についても検討を進めて欲しい。下水処理や浄化槽で除去されるマイクロプラスチックの原因物質（もとのプラスチック）は如何か。それらと、海域において観察されるプラとの関係が見えてくると有難い。

2. 採点結果

評価ランク：S